

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公開番号】特開2010-41207(P2010-41207A)

【公開日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-007

【出願番号】特願2008-199768(P2008-199768)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 03 B 17/02 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 F

G 03 B 17/02

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月1日(2011.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線送信機能を有する外部装置を装着し情報を外部機器に送信可能な情報処理装置において、

上記外部装置へ情報を送信する複数のモードから1のモードを設定するモード設定手段と、

上記情報処理装置の電源電圧と予め定められた参照値とを比較する電源状態比較手段と、

上記情報を不揮発性の記録媒体へ記録する記録手段と、

上記モード設定手段で設定された送信モードにおいて、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて、上記情報を記録及び上記外部装置へ送信する制御を切り換える記録送信切換制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

上記モード設定手段は、

上記情報を不揮発性記録媒体へ記録し、且つ上記外部装置の無線機能を用いて無線送信するモードと、

上記情報を不揮発性記録媒体へ記録することなく、上記外部装置の無線機能を用いて無線送信するモードと

を有し、

上記記録送信切換制御手段は、上記それぞれのモードに対して、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて送信制御を切り換えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

上記外部装置は内部にメモリを有し、

上記複数のモードには、

上記不揮発性記録媒体へ記録されている情報を抽出して上記外部装置の無線機能を用いて無線送信するモードと、

上記外部装置の内部メモリに記憶されている情報を上記外部装置の無線機能を用いて無線送信するモードと
が含まれ、

上記記録送信切換制御手段は、上記それぞれのモードに対して、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて送信制御を切り換えることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

上記情報処理装置は更に表示手段を有し、

上記設定された送信モードにおいて、上記記録送信切換制御手段は、上記電源状態比較手段により比較した結果に応じて、上記情報を上記外部装置の無線機能を用いて無線送信する場合と無線送信しない場合とに切り換えて制御し、

上記無線送信しない場合には上記表示手段に警告表示することを特徴とする請求項1乃至3の内いずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

上記無線送信機能を有する外部装置に電源を供給する電源供給手段と、

装着された上記無線送信機能を有する外部装置の動作可能電圧を認識する認識手段と、
を更に備え、

上記無線送信機能を有する外部装置の動作電圧が上記情報処理装置の所定の動作電圧よりも低電圧であった場合、

上記情報処理装置の電源の電圧が上記情報処理装置の所定の動作電圧よりも低くなった際、情報を送信するために上記無線機能を有する外部装置に電力供給を続けると共に、上記無線送信機能を有する外部装置の無線送信機能に関する上記情報処理装置の機能を、上記無線送信機能を有する外部装置の動作電圧になるまで動作させること

を特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

上記無線送信機能を有する外部装置の動作電圧が上記情報処理装置の所定の動作電圧よりも低電圧であった場合、

上記情報処理装置の電源の電圧が上記情報処理装置の所定の動作電圧よりも低くなった際、情報を送信するために上記無線機能を有する外部装置に電力供給を続けると共に、上記情報処理装置における所定の無線送信モードに対応して、上記無線送信モードの動作に必要な回路のみ駆動して、上記無線送信モードの動作を、保証できる動作まで継続することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項7】

無線送信機能を有する外部装置を装着し情報を外部機器に送信可能な情報処理装置の情報処理方法において、

上記外部装置へ情報を送信する複数のモードから1のモードをモード設定手段により設定し、

上記情報処理装置の電源電圧と予め定められた参照値とを電源状態比較手段により比較し、

上記情報を不揮発性の記録媒体へ記録手段により記録し、

上記モード設定手段で設定された送信モードにおいて、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて、上記情報を記録及び上記外部装置へ送信する制御を記録送信切換制御手段により切り換えること

を特徴とする情報処理方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置及び情報処理方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0001】**

本発明は、情報処理装置に無線装置を装着してこの無線装置を介して情報を他の機器に転送可能とした情報処理装置及び情報処理方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0006】**

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、無線送信機能を有する外部装置を装着し情報を外部機器に転送可能な情報処理装置において、情報処理装置の電源電圧が低下した場合であっても、その電圧レベルに応じて情報の転送処理を一体として処理することのできる情報処理装置及び情報処理方法を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0007】**

上記課題を解決するための本発明は、無線送信機能を有する外部装置を装着し情報を外部機器に送信可能な情報処理装置において、上記外部装置へ情報を送信する複数のモードから1のモードを設定するモード設定手段と、上記情報処理装置の電源電圧と予め定められた参照値とを比較する電源状態比較手段と、上記情報を不揮発性の記録媒体へ記録する記録手段と、上記モード設定手段で設定された送信モードにおいて、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて、上記情報を記録及び上記外部装置へ送信する制御を切り換える記録送信切換制御手段とを有する情報処理装置である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0008】**

また本発明は、無線送信機能を有する外部装置を装着し情報を外部機器に送信可能な情報処理装置の情報処理方法において、上記外部装置へ情報を送信する複数のモードから1のモードをモード設定手段により設定し、上記情報処理装置の電源電圧と予め定められた参照値とを電源状態比較手段により比較し、上記情報を不揮発性の記録媒体へ記録手段により記録し、上記モード設定手段で設定された送信モードにおいて、上記電源状態比較手段の比較結果に応じて、上記情報を記録及び上記外部装置へ送信する制御を記録送信切換制御手段により切り換える情報処理方法である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

情報処理装置に無線装置を装着してこの無線装置を介して情報を他の機器に転送可能とした情報処理装置において、情報処理装置の電源電圧が低下した場合であっても、その電圧レベルに応じて情報の転送を一体的に処理することのできる情報処理装置及び情報処理方法を得ることができる。